

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	10
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	4
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	1
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	7
1. その人らしい暮らしの支援	5
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	23

事業所番号	1473400313
法人名	社会福祉法人 誠幸会
事業所名	グループホーム泉の郷本郷
訪問調査日	2021年12月8日
評価確定日	2021年12月24日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
 外部評価は20項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [次ステップに向けて期待したい内容]
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和 3 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473400313	事業の開始年月日	平成15年10月1日
		指定年月日	令和3年10月1日
法人名	社会福祉法人 誠幸会		
事業所名	グループホーム泉の郷本郷		
所在地	(246-0015) 神奈川県横浜市瀬谷区本郷1-55-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	27名
		ユニット数	3ユニット
自己評価作成日	令和3年11月20日	評価結果 市町村受理日	令和3年12月28日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自治会の方々とのつながりを大切に考え、運営推進会議等を通じて報告・連絡・相談が密になるように心掛けており、今年度で言えば地域の方々と区消防の放水訓練競技会への参加、地域の菊の品評会が有った際、展示した花をお借りする等、有難い協力も多々して頂いております。コロナ禍で外出等が難しい為、小規模ながら、中庭での花火大会、季節折々の行事もレク委員会が企画し行っております。年2回の防災訓練を防災委員を中心に自治会や消防署にもご参加頂き、行っております。また、職員研修を行い、感染症対策（ノロウイルス、新型コロナウイルス等）にも力を入れています。その他、環境委員会を中心に毎日のゴミを計量、土壌混合法を取り入れ、生ゴミの減量化にも努めております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和3年12月8日	評価機関 評価決定日	令和3年12月24日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は社会福祉法人誠幸会の運営です。同法人は横浜市泉区に本部を構え、横浜市内を中心に「高齢者介護・障がい者支援・保育」の3本柱を軸に様々な福祉サービスを提供しています。高齢者介護では特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、軽費老人ホーム、グループホームなどの入所系サービスから、ディサービス・訪問介護、訪問看護、居宅介護支援などの在宅系サービスを展開しています。障がい者支援ではグループホーム、居宅介護、就労継続支援B型のサービスを提供しています。保育事業では認可保育所、企業主導型保育園を展開しています。ここ「グループホーム泉の郷本郷」は相鉄線「瀬谷駅」から「鶴間駅東口」行きのバスに乗り「本郷原」停留所から徒歩10分程の閑静な住宅地の中に位置しています。グループホーム泉の郷本郷は定員27名の3ユニットで構成された事業所で、広い敷地内には建物2棟と四季折々の花や野菜を栽培することのできる畑もあり、季節の花や野菜の栽培など園芸療法も取り入れた支援も行われています。

●事業所ではこの1年「①職員間のコミュニケーション②法・連・相の徹底」に注力して取り組んできました。職員間のコミュニケーションを充足させることで、意思疎通も図られ、職員同士の関係性が進展するとともに、業務を円滑に進めるためにもコミュニケーションの強化に取り組んでいます。報・連・相の徹底については、3ユニットと規模が大きく、ユニットが離れていることから、全体で話し合う機会があまり持ていなかった現状を鑑み、職員にアンケートを実施して現在の課題や問題点を抽出し、各ユニットリーダーが参画する全体会議の場で議題に挙げ、対応や解決策を模索しながら改善に努めています。

●職員の教育や研修については、定期的に様々な研修(看取り・感染症・食中毒・身体拘束・倫理法令・誤薬を含む事故防止・虐待)を行いながら、職員の知識や意識を高め、資質向上に努めています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム泉の郷 本郷
ユニット名	あやめユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各ユニットに法人理念を掲示し、理念に基づいたケアを提供できるようにしております。また、地域の一員として、自治会に参加しております。	法人の理念「ひたむきに「幸せ」の「和」をひろげ、誰もが笑顔で暮らせる社会をつくる」を各ユニット内に掲示し、理念に基づいたケアを実践できるよう常に確認と振り返りできるようにしています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の各種行事に参加させて頂くとともに、運営推進会議、防災訓練や夏祭りに協力、ご参加頂いております。日頃の挨拶等を通じて身近に感じて頂けるよう努めています。 ※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、行事等は一部を除き、自粛しております。	自治会に参加しており、例年は自治会の各種行事に参加して交流を図っていましたが、現在は新型コロナウイルスの流行に伴い、行事への参加は自粛しています。職員の出退勤時や散歩にお連れした際には挨拶を交わし、日常的な関わりをもつようにしています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事や、小学生・中学生の受け入れを通じて、認知症のご利用者や触れ合っております。その中で、認知症に関してのご理解を深めて頂いております。 ※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、行事等は一部を除き、自粛しております。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を通して、グループホーム内でのヒヤリハット等を報告、またご利用者の状況をご説明し、様々なご意見や助言を頂いております。また、地域の情報、イベント参加のお誘いを頂き、実際に自治会の一員として参加させて頂いております。	自治会長・自治会役員・民生委員・地域包括ケアプラザ職員をメンバーとして、2ヶ月に1回開催しています。事業所の現状や活動状況について報告し、いただいた意見や助言は運営やサービスに反映させています。また、地域行事をはじめ、地域ニーズの把握に努め、事業所として地域に貢献できることは積極的に取り組んでいます。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	防災ネットワーク（瀬谷区消防署主催）、瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会に参加し、情報の共有に努めております。特に所管の区役所と連絡を密に取り、ご指導、ご協力をして頂いております。	横浜市や瀬谷区から講習や研修会の案内をはじめ、不明点などが生じた際には担当課に連絡を取り合い、助言や相談に乗っていただくようにしています。また、運営推進会議の議事録の提出や瀬谷区グループホーム連絡会を通して情報共有を図っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を通して、何が身体拘束に当たるかを職員間で情報共有し、身体拘束をしないケアをしております。	法人で作成された「身体拘束・高齢者虐待防止マニュアル」を事務所に置き、いつでも閲覧できるようにしています。身体拘束については、年1回以上研修を行っている他、身体拘束防止委員会でも、定期的に事例などを持ち寄りながら話し合いを行い、身体拘束に該当する行為や声かけなどについて共通認識図り、身体拘束のないケアを実践しています。	今後の継続
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を通して、虐待に関する理解を深め、自分たちのケアが適切かを振り返り、虐待防止に努めております。危うい事例が有った際は、上席者が指導しております。	高齢者虐待防止法についても、身体拘束と併せて年1回以上は研修を行っています。研修のみならず、「身体拘束・高齢者虐待防止マニュアル」を用いて日々のケアの振り返る機会を設け、虐待の種類や該当する行為などについて共通認識図りながら虐待防止に努めています。言葉がけや対応において、危うい事例があった際には、上席者から指導しています。	今後の継続
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人全体・事業所単独でも研修を行い、業務に反映しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、全文を読み上げながらご説明を行い、疑問を解消してからご契約をしております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご本人様には、ケアプラン更新時や日常会話の中でのご希望をお伺いしております。ご家族様には、ご来苑時やケアプラン更新、電話連絡の際にご要望をお伺いしております。	契約時に重要事項説明書に明記している苦情相談窓口について説明しています。家族からの意見や要望は家族の来訪時や電話連絡した際の近況報告時に何うようにしています。また、運営推進会議に参加いただいた家族からも意見や要望を伺っています。利用者からの意見や要望は、日々の関わりや介護計画更新時に希望を伺い、支援内容に反映させています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見は必要に応じて、管理者から法人へ伝えております。また、法人には職員が直接相談できる部署を設けてあるので、職員からの悩みや相談ができる体制を整えております。年末には、自己申告書・本部の施設長等への面談（希望者のみ）で意見を伝えることもできます。	職員の出退勤時、業務や休憩時間の合間などの時間でも職員から意見や提案を聴くなどして、働きやすい環境づくりに努めています。職員会議時にも現状の課題やケアに関することについて、職員から意見や提案を聞き業務改善につなげています。	今後の継続
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の賞与や考察の結果を給与に反映し、向上心とやりがいの保持に繋げております。	法人では、多様な雇用形態・キャリアパスの充実・資格取得などを取り入れ、職員がやりがいや向上心を持って働ける環境整備に注力しています。また、法人内に職員から直接相談できる部署も設けられており、職員にも連絡先を周知しています。年末には自己評価を基に業務の取り組みに対する姿勢や個人目標の達成度に対する振り返りを管理者との面談を行い、年2回の賞与に反映されています。	今後の継続
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体・事業所単独での研修を行い、職員の質の向上を図っております。外部研修への参加を促すこともしております。また、業務のマニュアル化、OJTにも努めております。	入職時には「誠幸会職員の皆さんへ」（接遇及び業務マニュアル）を配布しており、入職時のオリエンテーションで職員としての心構え・接遇・法令順守・介護技術に至るまで本部で研修を受講しています。入職後は、現場でもOJTを通して利用者の情報・業務の流れ、ケア方法について指導を行っています。入職後も法人内研修・事業所内研修をはじめ、外部研修の参加を促し、職員のスキルアップにつなげています。	今後の継続
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会に参加し、交流を図っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前後の面談において、ご本人様、ご家族様、ケアマネジャーと情報を共有し、ケアプランを作成しております。また、ご本人様と密なコミュニケーションを取ることで不安を解消し、ご要望も伺っております。そして、ケアカンファレンス時に、職員間の情報共有、検証・改善を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居前後には、特にコミュニケーションを密にしております。また、折に触れてご家族様に現在の状況報告をし、信頼関係構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前にお伺いした情報を基に初回のケアプランを作成し、ケアを提供しております。ご入居後のご様子に応じて、適宜ケアプランの変更も行っております。医療職への相談・連携も行い、適切なケアができるよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除や洗濯物干し、洗濯物畳み、食器洗いなど、ご本人様のご要望に応じてできることをして頂いております。また、して頂いた後、“ありがとう”の言葉を大切にしております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご様子にお変わりがあった時には、ご家族様に生活歴や習慣などについて、改めて話しをお伺いしております。ご家族様が来苑時には、現在のご様子を申し伝え、ご要望もお伺いしております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、ご友人との関係は、可能な限り入居前と変わらぬ状態を保てるよう努めております。	契約時に、差し支えない程度に友人や知人に入居したことを伝えてくださいと声かけし、馴染みの関係が途切れないよう支援しています。また、入居時のアセスメントで、本人にとって馴染みの場所や人、趣向などの情報の把握に努め、馴染みの場所にお連れしたり、趣向を継続できるよう支援しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様のご様子に応じてレクリエーションをご用意しております。また、職員が間に入り、ご利用者様同士交流が図れるように努め、食事の席等の環境にも配慮しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後も可能な限り、ご家族様と連絡を取り、その後の状況をお伺いしたり、関係継続が図れるよう努めております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話の中で、ご本人様のお気持ちの把握に努めております。また、会話による把握が困難な場合は筆談したり、表情・行動から汲み取れるように工夫しております。	入居前面談で、本人、家族、在宅時の介護支援専門員から、過去の生活歴や既往歴、趣味嗜好、暮らし方の希望などについて聞き取り、思いや意向を把握しています。入居後は事前面談で得られた情報を基に関わりながら、言動や表情から今の思いの把握に努めています。会話での意思疎通が困難な方は筆談などで思いや意向を汲み取るよう支援しています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前後にご本人様、ご家族様、担当されていたケアマネジャー、施設職員からご様子をお伺いし、ご入居前の暮らしを踏まえた上で、グループホームでの生活がより良いものになるよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り、場合によっては、各個人別に記録を取り、情報の共有に努め、ケアに反映しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、ご家族様からご要望をお伺いし、居室担当者、ケアマネージャーを中心にその方に合ったケアプランを作成しております。また、医師・歯科医師・訪問看護師の意見も踏まえ、介護職員が毎月1回はケアカンファレンスを行っております。	入居時のアセスメントで得られた情報を基に初回の介護計画を作成し、暫くの期間は様子を見ながら、ADL・IADLの状態などの情報を収集し、現在の心身の状態を把握したうえで、再度アセスメントを行っております。介護計画の見直しにおいては、居室担当者・ケアマネージャーを中心に、ケース記録、職員の気づきなどを基にケアの課題を抽出し、本人、家族の要望、医療関係者の見解を反映させながら、現状に即した介護計画の作成につなげています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のご様子をパソコンで記録し、職員がいつでも閲覧できるようにしております。特別に共有したい情報に関しては、申し送りノートに別途記入し、その方にあつた対応を心掛けております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様・ご家族様の希望に応じて、外出、散歩、買い物、食事、受診などの支援やサービスを行うよう、努めております。 ※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、必要最低限度の対応にしております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事や囲碁・麻雀クラブに参加、交流を深めております。また、少し離れた公園まで徒歩、車を使用して花見に行く等の環境資源の活用にも努めております。 ※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、行事等は一部を除き、自粛しております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科・歯科の訪問診療があります。急なご様子の変化があつた場合には内科ナースコール（24時間対応）や訪問看護師に相談して、迅速で適切な医療が受けられるよう体制を整えています。また、かかりつけ医以外の受診結果を適宜ご家族様に報告し、安心して頂けるように努めております。	入居時に事業所の協力医療機関及び提携医について説明しています。内科は月2回の訪問診療、歯科は月1回の訪問があります。専門医に受診する際は、紹介状を書いていただき、家族対応での通院をお願いしています。訪問看護師による利用者の健康管理も週1回あり、適切な医療支援が行われています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、訪問看護師の来苑時、書面・面談で様子や問題点を伝え、医療職の視点でのアドバイスをもらい、ご利用者の身体・精神面の問題把握に努めております。また、適切な体調管理の助言をしてもらい、職員間で情報共有しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院まで積極的に、ご本人様、ご家族様、医師、医療連携室のソーシャルワーカーと面談、電話での相談を行い、今後の方針を決定しております。退院後は、ご本人がホームで安心して入院前の生活に戻れるよう努めております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	食事量の減少等が見られた段階で、ご家族様、ご本人のご希望について、ご相談をしております。施設で支援できることについてご説明をした上で、主治医・訪問看護師・職員が協議して、ご本人様・ご家族様を支援しております。また、適宜ユニット・カンファレンスを行い、ケアの統一化を図っております。	入居時に「重度化した場合における指針」に沿って説明を行い、延命処置の意向についても併せて確認しています。重度化した場合は、家族と医師の話し合いに管理者も同席し、特養などへの転移も含めて種々様々な選択肢を提示し、家族の意向を確認しています。事業所で看取りを希望される場合は、状況の変化に応じてユニットカンファレンスを行い、ケアの統一を図っています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急対応に関する研修を行っております。また、急変・事故発生後は振り返りを行い、同じような事例に備えております。心肺蘇生法については、法人全体で研修を行っております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練に消防・近隣の方々にもご参加頂き、運営推進会議における情報交換を通じて協力体制を築いております。 ※今年度は、新型コロナウイルスの流行に伴い、前期は消防の指導によりFIG（図面上での訓練）、後期は実地訓練を行いました。	防災訓練は年2回、昼夜の火災や地震を想定して実施しています。例年は近隣の方々にも参加いただいております。運営推進会議でも災害時における協力体制について確認しています。今年度は、新型コロナウイルスの流行に伴い、前期は消防の指導によりFIG（図面上での訓練）、後期は実地訓練を行いました。また、年2回の防災設備点検時には、防災機器の取り扱い方法についても確認しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	健康状態やご様子などプライバシーに関する話は、他のご利用者様の前では行わないように配慮しております。また、ご利用者様が人生における先輩でもある事を意識した対応を心掛けております。	入職時研修や入職後も定期的な研修を行うとともに、申し送り会議などで、接遇・マナー・倫理について話し合う機会も設けています。利用者一人ひとりの人格や個性を尊重し、尊厳や自尊心を傷つけることのないよう、言動や対応に十分留意しています。また、個人情報や守秘義務についても周知徹底しています。居室への入室、排泄支援を行う際にはプライバシーや羞恥心に配慮して対応しています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の想いを表出しやすいような、お声掛けを心掛けております。また、ご希望があった場合には、出来る限り実現できるように努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆっくりと過ごして頂けるよう、配慮しております。また、一人ひとりのペースにあった対応を心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご利用者様のお好みを考慮し、お気に入りの物や季節にあった衣類を着用して頂いております。また、ご希望に応じて訪問美容をご利用頂いております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様ペースに合わせてゆったりと食事が出来るように配慮しております。また、健康状態に応じて、常食常采以外にも刻み食やムース食を提供しております。安全・衛生面に配慮しつつ、下ごしらえや下膳、食器洗いなどをさせて頂いております。	食材はレシピ付きで業者から発注した物を職員が調理して提供しています。食事は生活において楽しみの一つであることから、個々の状態に応じて刻み食やムース食など、完食できるよう支援しています。残存能力の維持につなげるためにも、安全・衛生面に配慮しつつ、手伝いに参加していただくようにしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量を記録し、ご様子の把握に努めております。食事量が低下している場合はお好きな品をご用意し、栄養状態の維持に努めております。水分量については、提供する物を工夫したり、回数を増やしたりしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1か月に1回以上の歯科医師、歯科衛生士の訪問指導に基づき、口腔ケアを行っております。ご利用者に合わせてブラッシングの介助を行ったり、洗口液でのケアを提供しております。また、歯科訪問診療の際に、歯垢・歯石の除去をして頂いております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表で記録を取り、トイレ誘導のタイミングを把握、パット・リハパンの使用を減らす支援をしております。	排泄チェック表を用いて、一人ひとりの排泄状況の把握し、時間やタイミングを見計らった声かけによるトイレ誘導で、排泄の自立に向けた支援を心がけています。失敗を減らせるよう、カンファレンスやモニタリングで支援方法を検討しながら支援を行っています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品などの提供や食生活の改善、運動促進で便秘の予防に努めています。また、便秘による心身への影響を考慮して、医師・看護師に相談。服薬による便秘解消も行っております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	清潔保持の為、3日に1回、入浴して頂いております（ご本人のご希望等により、変わります。）。入浴剤を使用して頂いたり、入浴後にお好きな飲み物をお勧めするなど、「楽しいお風呂」となるよう心がけております。	週2回の入浴を目安としていますが、入浴日や時間は本人の希望を尊重しながら柔軟に対応しています。安全安心に入浴していただくため、入浴前にはバイタルチェックと本人の希望を確認したうえで入浴を促すようにしています。時には入浴剤や季節のお風呂などで気分を変えて入浴していただくようにしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は、ご本人の希望に応じて居室でお休み頂いていますが、基本居室やリビングにて過ごして頂き、夜安眠できるような支援をしております。また、快適に過ごして頂けるよう、空調の調節を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容を掲示して、ユニット職員が情報共有しております。また提携薬局による配薬、指導など、誤薬防止に努めております。服薬マニュアルの見直し・誤薬防止研修も随時行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様の好みを把握して、ADLに応じたレクやお手伝い、外出の支援を行っております。出前・外注食なども楽しんで頂いております。好みの音楽・本・雑誌なども希望に応じて提供しています。 ※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、外出等は一部を除き、自粛しております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や畑の整備、地域の囲碁・麻雀クラブなど、ご利用者のご希望やADLを考慮して、外出支援を行っております。中庭が広いので、晴れた日には中庭散歩を楽しんで頂いております。※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、外出等は一部を除き、自粛しております。	コロナ禍以前までは、地域の囲碁・麻雀クラブなど、利用者の希望やADLを考慮して外出支援を行ってまいりました。現在は感染症拡大防止のため、人が密集するような場所への外出は自粛し、近隣の散歩や広い敷地内にある畑の手入れや中庭を散歩する程度に留めています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は基本管理者・事務員が行っておりますが、物品の購入はご希望に添えるよう、ご家族に相談しております。成年後見人を立てているご利用者については、相談の上本人がご希望される品物を購入して頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様のご希望に応じて、ご家族様への電話連絡は自由にして頂いております。状況によっては職員が電話をかけ、ご本人様に取り次ぐなど、柔軟に対応しております。また、お手紙が届いた際は、ご本人様に誰からのお手紙かご説明して、職員が直接手渡ししております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じて飾りを変えたり、ご利用者様の製作物を展示して、居心地の良いリビング作りを心がけております。車椅子の方や場所がお分かりにならない方には、案内板や声かけにてご案内しております。また、ご本人に合わせた温度調節にも心掛けております。	各ユニットごとに装飾が異なりますが、利用者を主体とした共有空間となるよう心がけ、利用者の雰囲気に合わせて季節感を取り入れた装飾になっています。各ユニット共に家庭らしさを大切にするため、さっぱりとした居心地よく過ごせる空間になっています。また、利用者が安全・安心して生活出来るよう動線を考慮しながら家具などを配置しています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの各所に椅子やソファをご用意し、お好きな場所で過ごして頂いております。また、他のご利用者様と談笑されたり、職員が個別に対応したり、ご希望に応じて過ごして頂いております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様と一緒に撮ったお写真や使い慣れた家具、思い出の品などを置いて頂き、安全に配慮しつつ居心地の良い居室作りに努めております。飾りつけ等も支援も行っております。	各居室には備え付けの備品として、クーラー、カーテン、押し入れが完備されており、入居の際には馴染みの家具や調度品、その他必要な生活用品を持ち込んでいただいております。人によって持ち込まれている物は様々ですが、机や椅子、テレビ、仏壇、家族や飼っていたペットなどの写真も飾られ、その方らしい居室作りが行われています。認知機能の低下により危険が生じた際には、レイアウトを変更することもあります。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者様に危険が及ぶような薬剤や道具は目につかない場所、施錠できる場所に保管しております。また、歩行・車椅子の通行の妨げにならないように家具の配置を行っております。ご利用者の体調等に応じたベッドの配置もしております。		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム泉の郷本郷

作成日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	グループホーム泉の郷 本郷
ユニット名	れんげユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各ユニットに法人理念を掲示し、理念に基づいたケアを提供できるようにしております。また、地域の一員として、自治会に参加しております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の各種行事に参加させて頂くとともに、運営推進会議、防災訓練や夏祭りに協力、ご参加頂いております。日頃の挨拶等を通じて身近に感じて頂けるよう努めています。 ※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、行事等は一部を除き、自粛しております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事や、小学生・中学生の受け入れを通じて、認知症のご利用者と触れ合っております。その中で、認知症に関してのご理解を深めて頂いております。 ※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、行事等は一部を除き、自粛しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を通して、グループホーム内でのヒヤリハット等を報告、またご利用者の状況をご説明し、様々なご意見や助言を頂いております。また、地域の情報、イベント参加のお誘いを頂き、実際に自治会の一員として参加させて頂いております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	防災ネットワーク（瀬谷区消防署主催）、瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会に参加し、情報の共有に努めております。特に所管の区役所と連絡を密に取り、ご指導、ご協力をして頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を通して、何が身体拘束に当たるかを職員間で情報共有し、身体拘束をしないケアをしています。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を通して、虐待に関する理解を深め、自分たちのケアが適切かを振り返り、虐待防止に努めております。危うい事例が有った際は、上席者が指導しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人全体・事業所単独でも研修を行い、業務に反映しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、全文を読み上げながらご説明を行い、疑問を解消してからご契約をして頂いております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご本人様には、ケアプラン更新時や日常会話の中でのご希望をお伺いしております。ご家族様には、ご来苑時やケアプラン更新、電話連絡の際にご要望等をお伺いしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見は必要に応じて、管理者から法人へ伝えております。また、法人には職員が直接相談できる部署を設けてあるので、職員からの悩みや相談ができる体制を整えております。年末には、自己申告書・本部の施設長等への面談（希望者のみ）で意見を伝えることもできます。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の賞与や考察の結果を給与に反映し、向上心とやりがいの保持に繋げております。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体・事業所単独での研修を行い、職員の質の向上を図っております。外部研修への参加を促すこともしております。また、業務のマニュアル化、OJTにも努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会に参加し、交流を図っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前後の面談において、ご本人様、ご家族様、ケアマネジャーと情報を共有し、ケアプランを作成しております。また、ご本人様と密なコミュニケーションを取ることで不安を解消し、ご要望も伺っております。そして、ケアカンファレンス時に、職員間の情報共有、検証・改善を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居前後には、特にコミュニケーションを密にしております。また、折に触れてご家族様に現在の状況報告をし、信頼関係構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前にお伺いした情報を基に初回のケアプランを作成し、ケアを提供しております。ご入居後のご様子に応じて、適宜ケアプランの変更も行っております。医療職への相談・連携も行い、適切なケアができるよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除や洗濯物干し、洗濯物畳み、食器洗いなど、ご本人様のご要望に応じてできることをして頂いております。また、して頂いた後、”ありがとう”の言葉を大切にしております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご様子にお変わりがあった時には、ご家族様に生活歴や習慣などについて、改めて話しをお伺いしております。ご家族様が来苑時には、現在のご様子を申し伝え、ご要望もお伺いしております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、ご友人との関係は、可能な限り入居前と変わらぬ状態を保てるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様のご様子に応じてレクリエーションをご用意しております。また、職員が間に入り、ご利用者様同士交流が図れるように努め、食事の席等の環境にも配慮しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後も可能な限り、ご家族様と連絡を取り、その後の状況をお伺いしたり、関係継続が図れるよう努めております。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話の中で、ご本人様のお気持ちの把握に努めております。また、会話による把握が困難な場合は筆談したり、表情・行動から汲み取れるように工夫しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前後にご本人様、ご家族様、担当されていたケアマネジャー、施設職員からご様子をお伺いし、ご入居前の暮らしを踏まえた上で、グループホームでの生活がより良いものになるよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り、場合によっては、各個人別に記録を取り、情報の共有に努め、ケアに反映しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、ご家族様からご要望をお伺いし、居室担当者、ケアマネージャーを中心にその方に合ったケアプランを作成しております。また、医師・歯科医師・訪問看護師の意見も踏まえ、介護職員が毎月1回はケアカンファレンスを行っております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のご様子をパソコンで記録し、職員がいつでも閲覧できるようにしております。特別に共有したい情報に関しては、申し送りノートに別途記入し、その方にあつた対応を心掛けております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様・ご家族様の希望に応じて、外出、散歩、買い物、食事、受診などの支援やサービスを行うよう、努めております。 ※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、必要最低限度の対応にしております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事や囲碁・麻雀クラブに参加、交流を深めております。また、少し離れた公園まで徒歩、車を使用して花見に行く等の環境資源の活用にも努めております。 ※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、行事等は一部を除き、自粛しております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科・歯科の訪問診療があります。急なご様子の変化があつた場合には内科ナースコール（24時間対応）や訪問看護師に相談して、迅速で適切な医療が受けられるよう体制を整えています。また、かかりつけ医以外の受診結果を適宜ご家族様に報告し、安心して頂けるように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、訪問看護師の来苑時、書面・面談でご様子や問題点を伝え、医療職の視点でのアドバイスをもらい、ご利用者の身体・精神面の問題把握に努めております。また、適切な体調管理の助言をしてもらい、職員間で情報共有しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院まで積極的に、ご本人様、ご家族様、医師、医療連携室のソーシャルワーカーと面談、電話での相談を行い、今後の方針を決定しております。退院後は、ご本人がホームで安心して入院前の生活に戻れるよう努めております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	食事量の減少等が見られた段階で、ご家族様、ご本人のご希望について、ご相談をしております。施設で支援できることについてご説明をした上で、主治医・訪問看護師・職員が協議して、ご本人様・ご家族様を支援しております。また、適宜ユニット・カンファレンスを行い、ケアの統一化を図っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急対応に関する研修を行っております。また、急変・事故発生後は振り返りを行い、同じような事例に備えております。心肺蘇生法については、法人全体で研修を行っております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練に消防・近隣の方々にもご参加頂き、運営推進会議における情報交換を通じて協力体制を築いております。 ※今年度は、新型コロナウイルスの流行に伴い、前期は消防の指導によりFIG（図面上での訓練）、後期は実地訓練を行いました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	健康状態やご様子などプライバシーに関する話は、他のご利用者様の前では行わないように配慮をしております。また、ご利用者様が人生における先輩でもある事を意識した対応を心掛けております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の想いを表出しやすいような、お声掛けを心掛けております。また、ご希望があった場合には、出来る限り実現できるように努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆっくりと過ごして頂けるよう、配慮しております。また、一人ひとりのペースにあった対応を心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご利用者様のお好みを考慮し、お気に入りの物や季節にあった衣類を着用して頂いております。また、ご希望に応じて訪問美容をご利用頂いております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様ペースに合わせてゆったりと食事が出来るように配慮しております。また、健康状態に応じて、常食常采以外にも刻み食やムース食を提供しております。安全・衛生面に配慮しつつ、下ごしらえや下膳、食器洗いなどをして頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量を記録し、ご様子の把握に努めております。食事量が低下している場合はお好きな品をご用意し、栄養状態の維持に努めております。水分量については、提供する物を工夫したり、回数を増やしたりしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1か月に1回以上の歯科医師、歯科衛生士の訪問指導に基づき、口腔ケアを行っております。ご利用者に合わせてブラッシングの介助を行ったり、洗口液でのケアを提供しております。また、歯科訪問診療の際に、歯垢・歯石の除去をして頂いております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表で記録を取り、トイレ誘導のタイミングを把握、パット・リハパンの使用を減らす支援をしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品などの提供や食生活の改善、運動促進で便秘の予防に努めています。また、便秘による心身への影響を考慮して、医師・看護師に相談。服薬による便秘解消も行っております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	清潔保持の為、3日に1回、入浴して頂いております（ご本人のご希望等により、変わります。）。入浴剤を使用したり、入浴後にお好きな飲み物をお勧めするなど、「楽しいお風呂」となるよう心がけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は、ご本人の希望に応じて居室でお休み頂いていますが、基本居室やリビングにて過ごして頂き、夜安眠できるような支援をしております。また、快適に過ごして頂けるよう、空調の調節を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容を掲示して、ユニット職員が情報共有しております。また提携薬局による配薬、指導など、誤薬防止に努めております。服薬マニュアルの見直し・誤薬防止研修も随時行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様の好みを把握して、ADLに応じたレクやお手伝い、外出の支援を行っております。出前・外注食なども楽しんで頂いております。好みの音楽・本・雑誌なども希望に応じて提供しています。 ※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、外出等は一部を除き、自粛しております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や畑の整備、地域の囲碁・麻雀クラブなど、ご利用者のご希望やADLを考慮して、外出支援を行っております。中庭が広いので、晴れた日には中庭散歩を楽しんで頂いております。※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、外出等は一部を除き、自粛しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は基本管理者・事務員が行っておりますが、物品の購入はご希望に添えるよう、ご家族に相談しております。成年後見人を立てているご利用者については、相談の上本人がご希望される品物を購入して頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様のご希望に応じて、ご家族様への電話連絡は自由にして頂いております。状況によっては職員が電話をかけ、ご本人様に取り次ぐなど、柔軟に対応しております。また、お手紙が届いた際は、ご本人様に誰からのお手紙かご説明して、職員が直接手渡ししております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じて飾りを変えたり、ご利用者様の製作物を展示して、居心地の良いリビング作りを心がけております。車椅子の方や場所がお分かりにならない方には、案内板や声かけにてご案内しております。また、ご本人に合わせた温度調節にも心掛けております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの各所に椅子やソファをご用意し、お好きな場所で過ごして頂いております。また、他のご利用者様と談笑されたり、職員が個別に対応したり、ご希望に応じて過ごして頂いております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様と一緒に撮ったお写真や使い慣れた家具、思い出の品などを置いて頂き、安全に配慮しつつ居心地の良い居室作りに努めております。飾りつけ等も支援も行っております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者様に危険が及ぶような薬剤や道具は目につかない場所、施錠できる場所に保管しております。また、歩行・車椅子の通行の妨げにならないように家具の配置を行っております。ご利用者の体調等に応じたベッドの配置もしております。		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム泉の郷本郷

作成日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	グループホーム泉の郷 本郷
ユニット名	すみれユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各ユニットに法人理念を掲示し、理念に基づいたケアを提供できるようにしております。また、地域の一員として、自治会に参加しております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の各種行事に参加させて頂くとともに、運営推進会議、防災訓練や夏祭りに協力、ご参加頂いております。日頃の挨拶等を通じて身近に感じて頂けるよう努めています。 ※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、行事等は一部を除き、自粛しております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事や、小学生・中学生の受け入れを通じて、認知症のご利用者と触れ合っております。その中で、認知症に関してのご理解を深めて頂いております。 ※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、行事等は一部を除き、自粛しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を通して、グループホーム内でのヒヤリハット等を報告、またご利用者の状況をご説明し、様々なご意見や助言を頂いております。また、地域の情報、イベント参加のお誘いを頂き、実際に自治会の一員として参加させて頂いております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	防災ネットワーク（瀬谷区消防署主催）、瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会に参加し、情報の共有に努めております。特に所管の区役所と連絡を密に取り、ご指導、ご協力をして頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を通して、何が身体拘束に当たるかを職員間で情報共有し、身体拘束をしないケアをしています。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を通して、虐待に関する理解を深め、自分たちのケアが適切かを振り返り、虐待防止に努めております。危うい事例が有った際は、上席者が指導しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人全体・事業所単独でも研修を行い、業務に反映しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、全文を読み上げながらご説明を行い、疑問を解消してからご契約をして頂いております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご本人様には、ケアプラン更新時や日常会話の中でのご希望をお伺いしております。ご家族様には、ご来苑時やケアプラン更新、電話連絡の際にご要望等をお伺いしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見は必要に応じて、管理者から法人へ伝えております。また、法人には職員が直接相談できる部署を設けてあるので、職員からの悩みや相談ができる体制を整えております。年末には、自己申告書・本部の施設長等への面談（希望者のみ）で意見を伝えることもできます。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の賞与や考察の結果を給与に反映し、向上心とやりがいの保持に繋げております。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体・事業所単独での研修を行い、職員の質の向上を図っております。外部研修への参加を促すこともしております。また、業務のマニュアル化、OJTにも努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会に参加し、交流を図っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前後の面談において、ご本人様、ご家族様、ケアマネジャーと情報を共有し、ケアプランを作成しております。また、ご本人様と密なコミュニケーションを取ることで不安を解消し、ご要望も伺っております。そして、ケアカンファレンス時に、職員間の情報共有、検証・改善を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居前後には、特にコミュニケーションを密にしております。また、折に触れてご家族様に現在の状況報告をし、信頼関係構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前にお伺いした情報を基に初回のケアプランを作成し、ケアを提供しております。ご入居後のご様子に応じて、適宜ケアプランの変更も行っております。医療職への相談・連携も行い、適切なケアができるよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除や洗濯物干し、洗濯物畳み、食器洗いなど、ご本人様のご要望に応じてできることをして頂いております。また、して頂いた後、”ありがとう”の言葉を大切にしております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご様子にお変わりがあった時には、ご家族様に生活歴や習慣などについて、改めて話しをお伺いしております。ご家族様が来苑時には、現在のご様子を申し伝え、ご要望もお伺いしております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、ご友人との関係は、可能な限り入居前と変わらぬ状態を保てるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様のご様子に応じてレクリエーションをご用意しております。また、職員が間に入り、ご利用者様同士交流が図れるように努め、食事の席等の環境にも配慮しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後も可能な限り、ご家族様と連絡を取り、その後の状況をお伺いしたり、関係継続が図れるよう努めております。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話の中で、ご本人様のお気持ちの把握に努めております。また、会話による把握が困難な場合は筆談したり、表情・行動から汲み取れるように工夫しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前後にご本人様、ご家族様、担当されていたケアマネジャー、施設職員からご様子をお伺いし、ご入居前の暮らしを踏まえた上で、グループホームでの生活がより良いものになるよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り、場合によっては、各個人別に記録を取り、情報の共有に努め、ケアに反映しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、ご家族様からご要望をお伺いし、居室担当者、ケアマネージャーを中心にその方に合ったケアプランを作成しております。また、医師・歯科医師・訪問看護師の意見も踏まえ、介護職員が毎月1回はケアカンファレンスを行っております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のご様子をパソコンで記録し、職員がいつでも閲覧できるようにしております。特別に共有したい情報に関しては、申し送りノートに別途記入し、その方にあつた対応を心掛けております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様・ご家族様の希望に応じて、外出、散歩、買い物、食事、受診などの支援やサービスを行うよう、努めております。 ※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、必要最低限度の対応にしております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事や囲碁・麻雀クラブに参加、交流を深めております。また、少し離れた公園まで徒歩、車を使用して花見に行く等の環境資源の活用にも努めております。 ※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、行事等は一部を除き、自粛しております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科・歯科の訪問診療があります。急なご様子の変化があつた場合には内科ナースコール（24時間対応）や訪問看護師に相談して、迅速で適切な医療が受けられるよう体制を整えています。また、かかりつけ医以外の受診結果を適宜ご家族様に報告し、安心して頂けるように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、訪問看護師の来苑時、書面・面談でご様子や問題点を伝え、医療職の視点でのアドバイスをもらい、ご利用者の身体・精神面の問題把握に努めております。また、適切な体調管理の助言をしてもらい、職員間で情報共有しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院まで積極的に、ご本人様、ご家族様、医師、医療連携室のソーシャルワーカーと面談、電話での相談を行い、今後の方針を決定しております。退院後は、ご本人がホームで安心して入院前の生活に戻れるよう努めております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	食事量の減少等が見られた段階で、ご家族様、ご本人のご希望について、ご相談をしております。施設で支援できることについてご説明をした上で、主治医・訪問看護師・職員が協議して、ご本人様・ご家族様を支援しております。また、適宜ユニット・カンファレンスを行い、ケアの統一化を図っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急対応に関する研修を行っております。また、急変・事故発生後は振り返りを行い、同じような事例に備えております。心肺蘇生法については、法人全体で研修を行っております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練に消防・近隣の方々にもご参加頂き、運営推進会議における情報交換を通じて協力体制を築いております。 ※今年度は、新型コロナウイルスの流行に伴い、前期は消防の指導によりFIG（図面上での訓練）、後期は実地訓練を行いました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	健康状態やご様子などプライバシーに関する話は、他のご利用者様の前では行わないように配慮をしております。また、ご利用者様が人生における先輩でもある事を意識した対応を心掛けております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の想いを表しやすいような、お声掛けを心掛けております。また、ご希望があった場合には、出来る限り実現できるように努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆっくりと過ごして頂けるよう、配慮しております。また、一人ひとりのペースにあった対応を心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご利用者様のお好みを考慮し、お気に入りの物や季節にあった衣類を着用して頂いております。また、ご希望に応じて訪問美容をご利用頂いております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様ペースに合わせてゆったりと食事が出来るように配慮しております。また、健康状態に応じて、常食常采以外にも刻み食やムース食を提供しております。安全・衛生面に配慮しつつ、下ごしらえや下膳、食器洗いなどをして頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量を記録し、ご様子の把握に努めております。食事量が低下している場合はお好きな品をご用意し、栄養状態の維持に努めております。水分量については、提供する物を工夫したり、回数を増やしたりしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1か月に1回以上の歯科医師、歯科衛生士の訪問指導に基づき、口腔ケアを行っております。ご利用者に合わせてブラッシングの介助を行ったり、洗口液でのケアを提供しております。また、歯科訪問診療の際に、歯垢・歯石の除去をして頂いております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表で記録を取り、トイレ誘導のタイミングを把握、パット・リハパンの使用を減らす支援をしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品などの提供や食生活の改善、運動促進で便秘の予防に努めています。また、便秘による心身への影響を考慮して、医師・看護師に相談。服薬による便秘解消も行っております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	清潔保持の為、3日に1回、入浴して頂いております（ご本人のご希望等により、変わります。）。入浴剤を使用したり、入浴後にお好きな飲み物をお勧めするなど、「楽しいお風呂」となるよう心がけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は、ご本人の希望に応じて居室でお休み頂いていますが、基本居室やリビングにて過ごして頂き、夜安眠できるような支援をしております。また、快適に過ごして頂けるよう、空調の調節を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容を掲示して、ユニット職員が情報共有しております。また提携薬局による配薬、指導など、誤薬防止に努めております。服薬マニュアルの見直し・誤薬防止研修も随時行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様の好みを把握して、ADLに応じたレクやお手伝い、外出の支援を行っております。出前・外注食なども楽しんで頂いております。好みの音楽・本・雑誌なども希望に応じて提供しています。 ※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、外出等は一部を除き、自粛しております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や畑の整備、地域の囲碁・麻雀クラブなど、ご利用者のご希望やADLを考慮して、外出支援を行っております。中庭が広いので、晴れた日には中庭散歩を楽しんで頂いております。※現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、外出等は一部を除き、自粛しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は基本管理者・事務員が行っておりますが、物品の購入はご希望に添えるよう、ご家族に相談しております。成年後見人を立てているご利用者については、相談の上本人がご希望される品物を購入して頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様のご希望に応じて、ご家族様への電話連絡は自由にして頂いております。状況によっては職員が電話をかけ、ご本人様に取り次ぐなど、柔軟に対応しております。また、お手紙が届いた際は、ご本人様に誰からのお手紙かご説明して、職員が直接手渡ししております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じて飾りを変えたり、ご利用者様の製作物を展示して、居心地の良いリビング作りを心がけております。車椅子の方や場所がお分かりにならない方には、案内板や声かけにてご案内しております。また、ご本人に合わせた温度調節にも心掛けております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの各所に椅子やソファをご用意し、お好きな場所で過ごして頂いております。また、他のご利用者様と談笑されたり、職員が個別に対応したり、ご希望に応じて過ごして頂いております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様と一緒に撮ったお写真や使い慣れた家具、思い出の品などを置いて頂き、安全に配慮しつつ居心地の良い居室作りに努めております。飾りつけ等も支援も行っております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者様に危険が及ぶような薬剤や道具は目につかない場所、施錠できる場所に保管しております。また、歩行・車椅子の通行の妨げにならないように家具の配置を行っております。ご利用者の体調等に応じたベッドの配置もしております。		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム泉の郷本郷

作成日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。